

Z-207型・Z-215型製品寸法図

へこみ側(裏面に粘着テープ)
粘着テープ取付け面
裏側にステンレス板(角度振り板)が両面粘着テープで付いています。とれている場合は、左図の方向で、ステンレス板の穴とベースの穴が一致するように取付けて下さい。

● Z-207型製品寸法図

● Z-215型製品寸法図

梱包内容

- ① シャフト及びメカ部 × 4
- ② カバー × 4
- ③ ネジ袋 × 2
- ④ 700アーム × 2

角度調整とピッチ

(1) 左右角の調整

(2) 前後角の調整

●傾斜天井の場合は、ボールの高さ調整寸法適用範囲が少なくなります。

前後角を調整すると、傾斜天井面に沿った取付けピッチPが、下図のように大きくなります。

勾配-ピッチ表を参考にして下さい。

勾配-ピッチ表		
勾配	P [mm]	
水平天井	0° 00'	313
5分	2° 50'	313
1寸	5° 40'	315
1寸5分	8° 30'	317
2寸	11° 20'	319
2寸5分	14° 00'	323
3寸	16° 40'	327
3寸5分	19° 20'	332
4寸	21° 50'	337
4寸5分	24° 10'	343
5寸	26° 30'	350
5寸5分	28° 50'	357

(●300mmピッチのアンカーを使う場合、天井面の傾斜角度は17°までとなります)

準備

使用する部品は、本セット内にすべて含まれています。
この商品は取付け部に補強が必要です。取付ける部分の木製下地が、十分な強度を持っていることを確認して下さい。

●下地補強の例(下図)

取付け場所

取付け中央の野縁材の両脇に野縁材をさらに取付け、取付面巾が110mm以上になるようにします。3本が一体化するよう横釘で互いを横釘でとめて下さい。

野縁1本にネジ3本止めの場合

上図のような取付け方の場合、垂直下向きの力による取付ネジの抜け等はありませんが、横振りの力に弱くなります。お施主様に充分注意を促して下さい。

木製下地の軒天に取付ける場合

●アンカーを別途御購入下さい
充分に強度を持ったアンカーをお使い下さい。
インサートアンカーの例

(●300mmピッチのアンカーを使う場合、天井面の傾斜角度は17°までとなります)

●RC用取付座が必要
この商品は、コンクリート面に取付ける場合、RC用取付座(別売品)が必要です。

●ボルトとバネワッシャーを別途御購入下さい

取付座断面 大型ワッシャー断面

取付け方法

1 下穴と本体の仮止め

右図通りに正確に下穴(φ3mm前後)をあけて下さい。取付けピッチPは、勾配-ピッチ表を参照下さい。

4本の取付けネジ(Z型ネジ袋)で本体(シャフト及びメカ部)を3ミリ程締め残して仮止めします。ベース周辺4つの“取付”と書かれた長穴を使用して下さい。ベースの向きに注意して、必ず建物側の本体のみを取付けて下さい。

外方向を向く
小形丸座金
ベース
建物側

取付穴
調整取付
取付穴

●RC用取付座の設置

- 300mmピッチのアンカーの場合
ボルト穴が長孔になっていることを利用して、各取付座を外側へズラします。

- 単体アンカー2個付けの場合
M5タップ穴が、正確に取付け位置に並ぶように取付けます。ボルト用長孔が互いに直角になるよう配置して下さい。下図の寸法2カ所を正確に計り、取付けピッチPをだして下さい。

取付けピッチPは、勾配-ピッチ表を参照下さい。

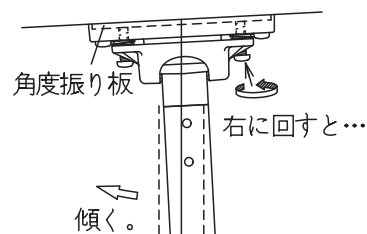
コンクリート天井面に取付ける場合

木製下地の軒天に取付ける場合

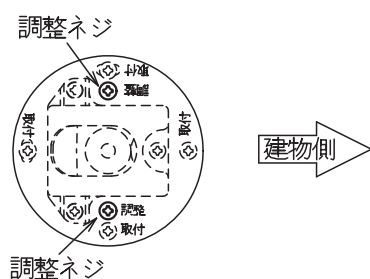
取付け方法

② 左右角の調整

下げ振り等を使い、左右角の垂直を確認して下さい。もし垂直でない場合は、一旦取付ネジをゆるめ、ベースを天井面に押しあてながら、脇に“調整”と書かれてある調整ネジを回して垂直を調整して下さい。



(調整ネジは右へ回すと、反対方向へ傾きます。)

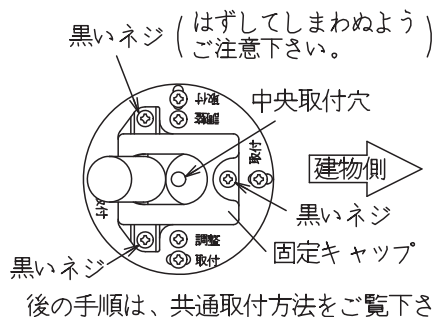
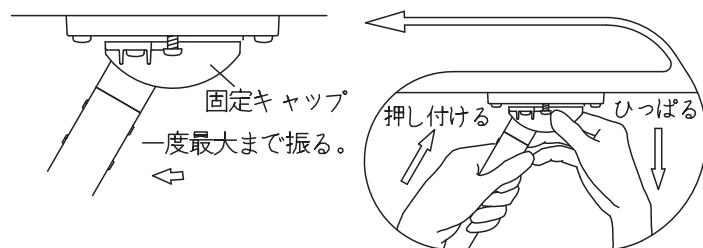


調整ができれば、取付ネジを完全に締め付けて下さい。

③ 中央取付ネジの締め付け

シャフトの角度をさめるための黒いネジ3本を、はずれない程度に充分ゆるめ、一度最大までシャフトを振って下さい。本体の中央に取付穴が見えるので、そこを取付けネジで締め付けます。

(シャフトが動きにくい場合は、固定キャップを下にひっぱりながら、シャフトを上押し付けて動かして下さい。)

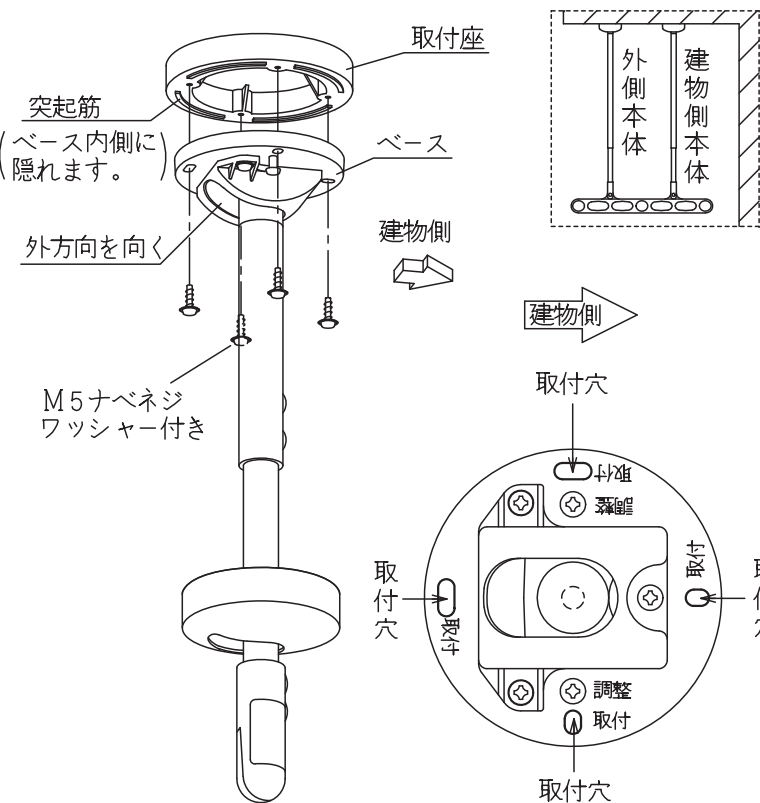


後の手順は、共通取付方法をご覧ください。

コンクリート天井面に取付ける場合

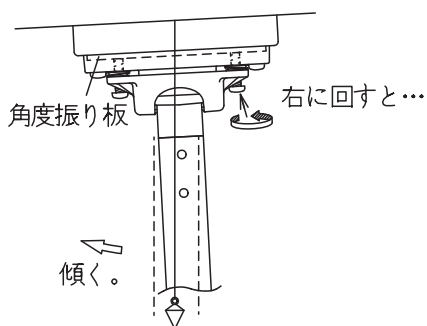
② 本体の仮止め

4本の取付けネジ(取付座ネジ袋)で、本体(シャフト及びメカ部)を3ミリ程締め残して仮止めします。ベース周辺4つの“取付”と書かれた長穴を使用して下さい。ベースの向きに注意して、必ず建物側の本体のみを取付けて下さい。

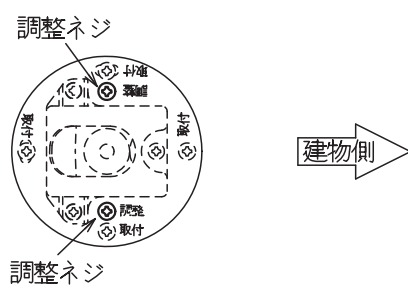


③ 左右角の調整

下げ振り等を使い、左右角の垂直を確認して下さい。もし垂直でない場合は、一旦取付ネジをゆるめ、ベースを取付座に押しあてながら、脇に“調整”と書かれてある調整ネジを回して垂直を調整して下さい。



(調整ネジは右へ回すと、反対方向へ傾きます。)

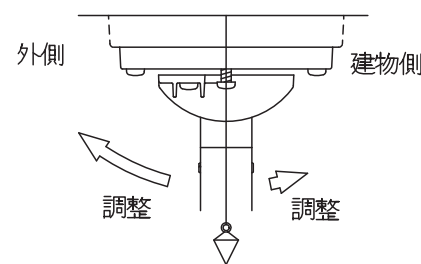


調整ができれば、取付ネジを完全に締め付けて下さい。

木製下地・コンクリ共通取付け方法

① 前後角の調整

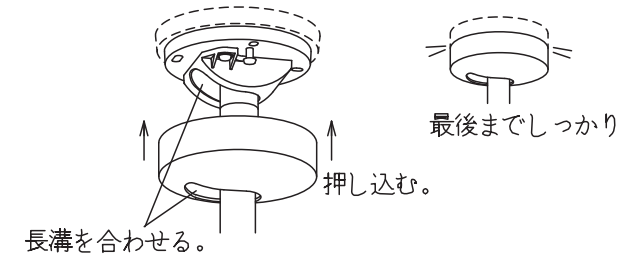
下げ振り等を使って垂直を出し、ゆるめた黒いネジをしめ付けます。締め付けたら、シャフトを2、3度振ってみて、動かないことを確認して下さい。



動かないことを確認。これまでの手順を繰返し外側のもう1本も取付けて下さい。

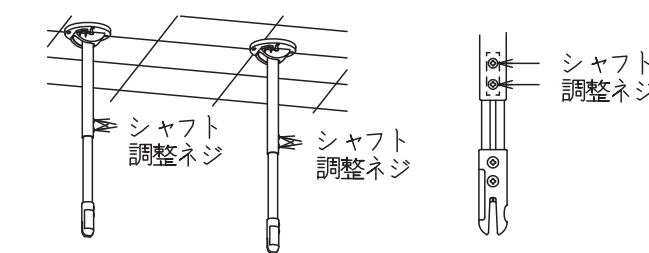
② カバーの取付け

カバーの長溝と固定キャップの長溝を合わせる方向で、爪の合わせに注意しながら、しっかりカバーを押し込んで下さい。



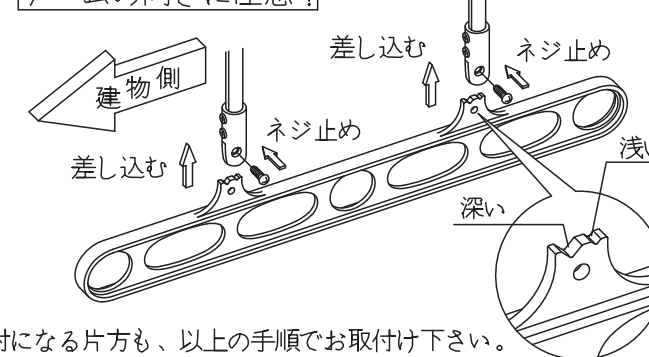
③ アームの取付け

シャフトに付いているシャフト調整ネジをゆるめて、シャフトを伸ばします。



図の方向でアームを充分差し込み、受けとアームの穴が一致したら、M8ナベネジ(Z型ネジ袋)で締め込んで下さい。

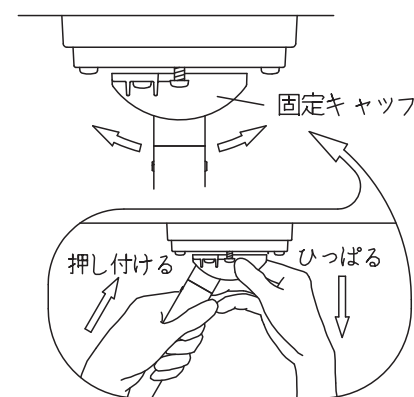
アームの向きに注意!



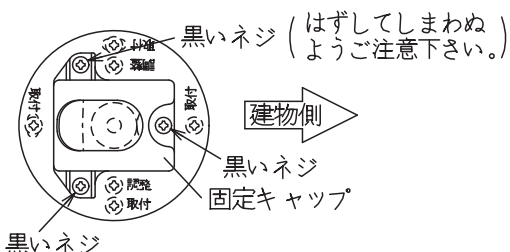
対になる片方も、以上の手順でお取付け下さい。

④ 前後角の調整準備

シャフトの角度を固定するための黒いネジ3本を、はずれない程度に充分ゆるめて下さい。シャフトが動くようになります。



(シャフトが動きにくい場合は、固定キャップを下にひっぱりながら、シャフトを上押し付けて動かして下さい。)



後の手順は、共通取付方法をご覧ください。

④ 全体長さの調整

シャフト調整ネジを抜けない程度に充分ゆるめ、高さを調整します。調整したら、シャフト調整ネジをしっかりと締め付けて完成です。

